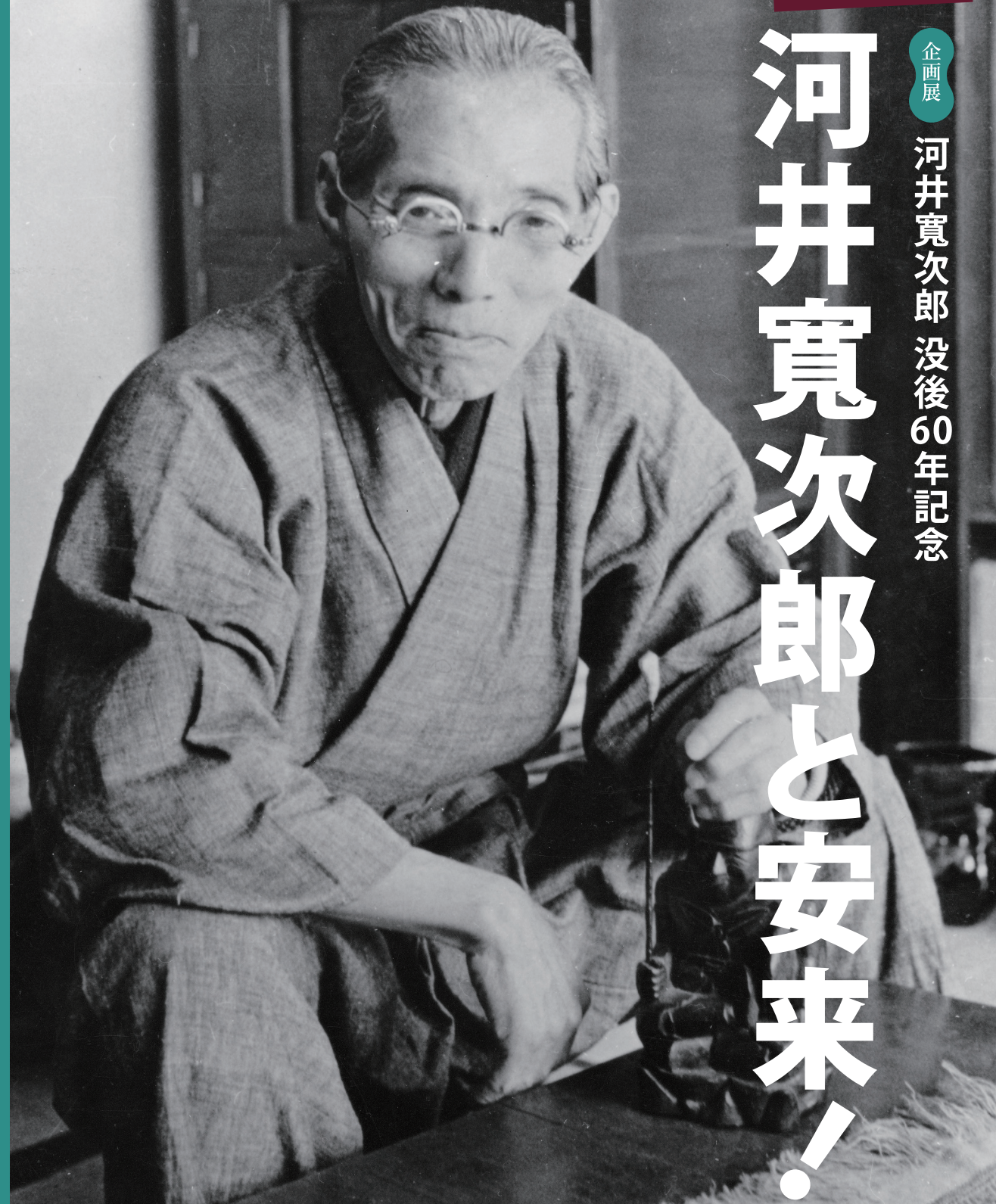


河井寛次郎と安来!



MINGEI・POTTERY・DESIGN・ART・POETRY

■開館時間／9:00～16:30(入館は16:00迄) ■休館日／毎週火曜日、11/3(火・祝)開館、11/4(水)振替休館

■入館料／一般1,100円(900円) 大学生550円(450円) 高校生以下無料

※()内は団体料金 20名以上 ※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者手帳をお持ちの方、及びその付き添いの方1名は無料。

■主催／安来市、安来市教育委員会、安来市加納美術館、BSS山陰放送 ■協力／一燈園、河井寛次郎記念館

■後援／安来市文化協会、広瀬町文化協会、双松会、山陰中央新報社、中国新聞社、新日本海新聞社、島根日日新聞社、朝日新聞松江総局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、NHK松江放送局、TSKさんいん中央テレビ、山陰ケーブルビジョン、中海テレビ、エフエム山陰、エフエムいずも、DARAZ FM(順不同)



平和を願い続ける美術館

安来市加納美術館
YASUGI KANO MUSEUM of ART

〒692-0623 島根県安来市広瀬町布部345-27

Tel:0854-36-0880 <https://www.art-kano.jp>

E-mail: info@yasugi-kano-museum.com

寛次郎の美意識を育んだのは、どう? 寛次郎の美意識を受け継いだのは、だれ?

2026年10/23(fri.)～12/21(mon.)

映画上映会

山陰初上映!

ニューヨーク、東京、京都で大きな反響を呼んだ
話題のドキュメンタリー映画

『何といふ今だ
今こそ永遠 河井寛次郎』

2026年制作。河井寛次郎初の海外単独展をきっかけに生まれた本作は、陶芸家、詩人、思想家として生きた寛次郎の思想と美意識に迫ります。
本展とあわせてご覧いただくことで、安来に生まれた寛次郎の足跡と、その精神が現代へ受け継がれていることをより深く感じていただけます。

制作：一般社団法人日米芸術振興協会

監修：鷺珠江

ナレーション：井浦 新 上映時間：65分

期日：11/29(日)・12/6(日)・12/13(日) 11:00～14:00～

料金：一般／1,500円

18歳以下・障がい者手帳等お持ちの方／1,000円

未就学児／無料

場所：布部交流センター(美術館隣)

協力：四日市水槽  四日市水槽

茶室 如水庵

名碗を
愉しむ会

安来市加納美術館では、冬季と盛夏を除き、毎月所蔵品の茶碗を間近で鑑賞できる「名碗を愉しむ会」を開催しています。
茶室「如水庵」で少人数で開催する特別な催しです。呈茶あり。

河井寛次郎のお茶碗を間近で
鑑賞できるチャンスです。

10月25日(日)・11月15日(日)

①10:30～ ②13:30～

定員
各6名

■要申込(開催日3日前まで)

■参加費 / 2,000円(美術館入館料は別途)

河井寛次郎
「三色碗」北大路魯山人
「はけめ茶碗」濱田庄司
「地掛緑白茶碗」河井寛次郎
「呉洲碗泥刷毛目」次回企画展の
おしらせ

2027年1月11日(月・祝)～3月31日(水) 予定
「加納溥基コレクションより 備前焼の名品展」



平和を願い続ける美術館

安来市加納美術館
YASUGI KANO MUSEUM of ART

〒692-0623 島根県安来市広瀬町布部345-27

Tel:0854-36-0880 <https://www.art-kano.jp>

E-mail: info@yasugi-kano-museum.com



入館割引券
100円
※本館に併設の
他館の利用は不可

MINGEI・POTTERY・DESIGN・ART・POETRY

河井寛次郎と安来！ どんな関係が？



民藝〈民衆的藝術〉運動の中心人物であり、日本を代表する陶芸家でもある河井寛次郎。寛次郎さんは1890(明治23)年、島根県安来市安来町に生まれました。安来は寛次郎さんが20歳までを過ごし、終生愛したふるさとです。本展は河井寛次郎没後60年を記念して開催するものです。

棟方志功「須菩提の柵」
(釈迦十大弟子と二菩薩)
一燈園所蔵

寛次郎さんの感性を 育んだ安来の風土

文筆家としても高く評価されている寛次郎さん。子ども時代を描いたエッセイ『六十年前の今』に描かれた安来の風景の面影が今も各所に残っています。写真家・尾原和憲が撮影した現在の安来の風景が、寛次郎さんが見た故郷の面影をしのばせます。



「六十年前の今」河井寛次郎著

助からないと思っても助かっている (寛次郎の言葉)



河井寛次郎
二彩兎唐草文鉢
一燈園所蔵



河井寛次郎
青瓷鳳凰獅子
牡丹唐草文鉢
一燈園所蔵



発見！ 動く、話す、寛次郎さん！

昭和30年代に収録・放送されたインタビューを映像展示。レアです。肉声も聞けます。

新しい自分が見たいのだー仕事する (寛次郎の言葉)

昭和20(1945)年3月。 京都の河井寛次郎に 何が？

昭和20年1月、京都市に米軍の空襲があり、寛次郎さんの自宅(現在の河井寛次郎記念館)もあわや被災の危機に。3月にも空襲があるなど危険が迫るなか、手を差し伸べたのが一燈園の西田天香でした。寛次郎さんが収集した各国の手仕事品や木喰仏、棟方志功の板画、そして自分自身の作品など300点余りを一燈園に疎開させたのです。それが1945年3月のことでした。戦後も大切に保管されたこの寛次郎コレクション、まとまった形での公開は今回が69年ぶりです。

棟方志功「文殊菩薩の柵」(釈迦十大弟子と二菩薩) 一燈園所蔵



ものづくりの先生、 寛次郎さん、 教えてください！



河井寛次郎
三色碗
安来市加納美術館蔵

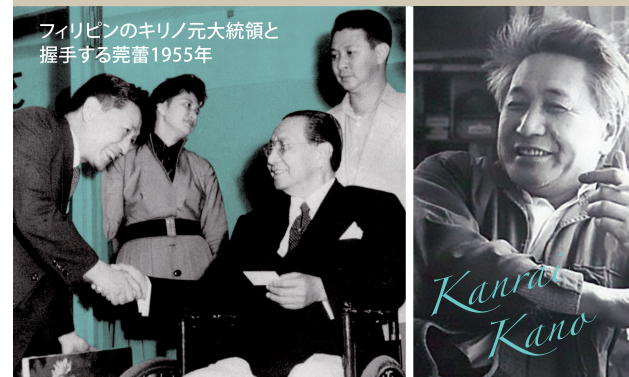
特殊鋼や先端産業が盛んな安来は「工人」の町でもありました。寛次郎さんは製品のデザインやアイデアを工人たちに授けました。寛次郎さんの精神は今も安来のものづくりの現場に。安来の手仕事の今を紹介します。

おどろいている自分におどろいている自分 (寛次郎の言葉)

同時開催

かん らい 加納莞蕾展 「今願うー世界の平和を」

安来市出身の画家加納莞蕾(1904~1977)は、戦後日本人フィリピンBC戦犯の助命嘆願書をフィリピン大統領はじめ、世界の要人たちに送り続けました。その活動は世界の恒久平和への希求へと発展し、戦犯解放後もずっと続きました。莞蕾の活動は今、中学歴史教科書にも記され、次世代につながっていかうとしています。莞蕾の平和への思いを絵画作品と資料を通じてごらんください。



フィリピンのキリノ元大統領と握手する莞蕾1955年

★ レストランやまさやを併設しています ★

展覧会鑑賞の後は・・・

レストランやまさやでは、備前焼のカップでコーヒーを楽しんでいただけます。

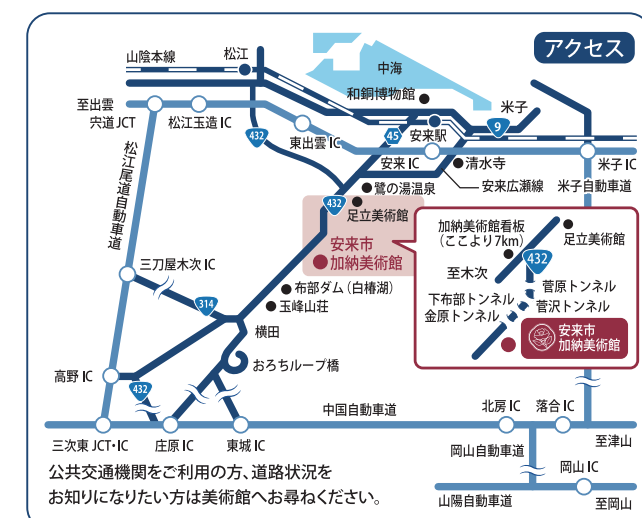
火曜日定休日(祝日の場合は翌日)



ランチタイム
11:00~14:00
喫茶タイム
14:00~15:30



※喫茶は都合により対応できない場合がございます。



会期中の催し

ギャラリーツアー

「寛次郎を知ろう」

案内人は寛次郎の孫、鷺珠江さん(京都市・河井寛次郎記念館学芸員)

11月22日(日) ■参加費無料 ■要入館料
11:00~13:30~(各回45分予定)
会場/本館展示室

トークイベント(講演会)

「河井寛次郎と一燈園」

講師/宮田昌明さん(一燈園香倉院研究員) 神英雄さん(安来市加納美術館参与)

11月7日(土) ■参加費無料
13:30~(13:00開場)
会場/布部交流センター(美術館隣)

アートdeトーク(対話型鑑賞会)

11月3日(火・祝) ①11:00~ ②14:00~
ひとつの作品を見ながら感じたこと・気付いたことなど、対話することで作品の観かた・感じ方が見つかります。鑑賞力・対話力もアップすると好評です。
ファシリテーター/春日美由紀さん(Art&Communication Lab.うるとらまりん)

学芸員によるギャラリートーク

10月24日(土)・11月28日(土)各11:00~・11月1日(日)・12月12日(土)各①11:00~ ②13:30~
本展企画学芸員によるわかりやすく楽しい解説。見どころや、展覧会の裏話など。

お気軽にご参加ください

名碗を愉しむ会

要申込/開催日3日前まで
河井寛次郎作品を間近で鑑賞できます。詳しくは裏面をご覧ください。

*各催しについて
詳しくは美術館まで
お尋ねください